

区議会だより

発行/江戸川区議会
江戸川区中央1-4-1
ダイヤルイン 5662-6736
<http://www.gikai.city.edogawa.tokyo.jp/>

236号の
主な記事

- 第2回定例会概要、議員提出議案..... 1 ページ
- 議案、請願・陳情の処理状況..... 2 ページ
- 代表質問、一般質問..... 3～5 ページ
- 決算特別委員会の概要..... 6～8 ページ

第2回定例会日程

9月19日	議案上程、委員会付託
24日	代表質問
25日	一般質問、表決
27・30日	}.....決算審査
10月1・3・4・7・8・10日	
11日	議案審査
15日	請願・陳情等の審査
24日	議案上程、委員会付託、 委員会報告及び表決

令和元年第2回定例会

平成30年度各会計歳入歳出決算を認定

補正予算を含む30議案及び「天皇陛下御即位の賀詞」と意見書を可決

令和元年第2回定例会は9月19日から10月24日までの36日間の会期で開かれました。

この定例会には区長から、平井五丁目駅前地区市街地再開発事業の再開発組合補助金などを計上した補正予算を含む29件の議案、同意1件と報告4件が提出されました。

平成30年度各会計歳入歳出決算については、決算特別委員会を設置し、区政の課題など詳細にわたり審査を行いました。

決算の認定を含め、これらの議案はいずれも原案のとおり可決されました。

また、議員からは「天皇陛下御即位の賀詞」を含む2件の議案が提出され、全会一致で可決されました。意見書は、各関係機関に送付しました。

なお、10月24日の本会議中、議会の円滑な運営を妨げたとして、本会議にて懲罰特別委員会が設置されました。



源心庵 (行船公園)

この定例会の会議録は、2月頃にできあがります。詳細は、区議会ホームページ、お近くの図書館、コミュニティ図書館、または区議会事務局をご覧ください。

議員から提出された議案

—意見書は各関係機関に送りました—

○天皇陛下御即位の賀詞

天皇陛下におかせられましたは 風薫る良き日に御即位されましたことは誠に慶賀に堪えないところであります

天皇皇后両陛下の益々の御清祥と 令和の御代の末永き弥栄をお祈り申し上げます

ここに江戸川区議会は 区民を代表して 謹んで慶祝の意を表します

○太陽光発電の適切な導入に向けた制度設計と運用を求める意見書

〔経済産業大臣、環境大臣 あて〕

脱炭素社会の構築が求められる中、太陽光発電をはじめとする再生可能エネルギーの導入拡大が必要とされている。導入量増加の一方で、一部地域では、防災・景観・環境面での地域住民の不安やFIT買取期間終了時に太陽光パネルが放置されるのではないかと懸念が生じている。そこで、再生可能エネルギー特別措置法に基づく事業計画の認定に当たり、地域住民への事前説明を発電事業者に義務付けるとともに、具体的な手続きを明記するなど、地域住民との関係構築のために必要な取組みを行うこと等を国に求める。

台風19号による 区議会災害対策本部の設置について



令和元年10月12日、午前8時の江戸川区災害対策本部設置をうけ、江戸川区議会も同刻に区議会災害対策本部を設置しました。

議案等の概要と結果 (○…賛成、×…反対)

会派名：自民…自由民主党、公明…公明党、共産…日本共産党、江ク…区議会江戸川クラブ、立民…立憲民主党、区民…えどがわ区民の会、生ネ…生活者ネットワーク 無所属…会派に属していない議員を左から50音順に表記しています

(議長を除く 計43人)

Table with columns: 件名, 概要, 自民, 公明, 共産, 江ク, 立民, 区民, 生ネ, 無所属, 賛成, 反対, 結果. Includes sections for 区長提出議案 and 議員提出議案.

※1 立憲民主党は、会派拘束を解き、採決にあたりました。 ※2 棄権

皆さんから出された請願・陳情

Table with columns: 新たに受理されたもの, 付託委員会, 番号, 内容, 委員会. Lists various petitions and their assigned committees.

区政への質問

9月24日に代表質問、25日に一般質問が行われ、区政全般の課題について活発な論議が展開されました。ここでは質問と答弁の要旨を掲載します。

QRコードから各質問者の質問映像をご覧になれます。

代表質問

承継された課題とこれからの行政システムについて



自由民主党
須賀 精二



問 承継された課題について。

①学校等の木造建築について以前質問したが、その後の取り組みは。また、以前よりも木造建築への関心も深まり、技術・材料の供給等にも格段の進歩がある。区内の建築関係者から地域施設・学校・新庁舎を木造で建ててほしいとの要望も聞いているが、区長の考えは。

②区内産業振興の課題は人手不足。国の手続き簡便化により就労ビザなどを有し、3か月以上滞在する「中長期在留者」などが、年5～7%で増加。地域のこれまでの歴史資産や産業のノウハウを尊重し、産業を支える人材に育成するため、区在住の就労留学生を中心とした外国人住民と日本人住民との共生及び良き住民性の涵養、交流イベントの開催などを目的に本区の商工業の中心である首都高速道路西小松川高架下に施設の開設を考えては。

③9月1日から東京都受動喫煙防止条例が一部施行された。本区ではどのような普及啓発を行い、義務化された店頭ステッカーの取り組みはどのように進んでいるのか。屋外での喫煙が増えるという懸念があるが、屋外の喫煙所の整備について区長の考えは。また、本庁舎に設置された喫煙場所は仮設なのか。

答 ①改築校の内装部分において鶴岡市や多摩地区の木材を積極的に活用してきた。校舎そのものを木造で建てることについては検討している。建築基準法の壁があるが、引き続き前向きに可能性を探っていきたい。

②お互いを知るような施設は必要だと思っている。コミ館や区民館が全てそのような機能を持てるようになっていかなと思っている。首都高速道路高架下の利用については今後も広く深く、様々な意見を聞きながら検討していく。

③広報やホームページへの掲載、病院や学校、飲食店等に対して説明を行っており、10月よりコールセンターの設置、アドバイザーの派遣、説明会等も併せてやっていく。ステッカーの掲示についてはあと半年で区に権限が下りてくるため、これを機に調査していく。屋外の喫煙所については場所や整備の方法について今検討を進めている。本庁舎の喫煙所については受動喫煙防止対策アドバイザーからも助言をもらい、今の場所を選定した。しばらく様子を見たいと思っている。



受動喫煙防止について

問 AIの導入に各自治体に取り組んでおり、本区もRPAを導入した。AIを公共サービスを使うのならば、政策過程を透明化し説明責任を果たすべきと考えるが、区長の考えは。また、申請等の窓口業務にもできる限り電子申請を取り入れるべきと考えるが。

答 区民福祉の向上、税金の有効活用であるならば進めていかなければならない。今まで戸籍・国保・年金・医療など各区個別にシステムを持っていたが、23区全体での運用を検討している。庁舎の移転もきっかけになるため前向きに検討していきたい。また、一般的な申請等については電子申請できるものは置き換えていきたいと考えている。

問 東京2020大会まであと1年をきり、葛西臨海公園及び隣接するカヌー・スラローム会場の付近一帯において様々な整備が進みつつある。今後更に商業的にも活性化すると推察されるが、付近一帯の活性化に向けてどのような計画が進捗しているのか。また、今後の取り組みは。

答 オリンピック開催を機に、更にあの一帯を発展させることができないかと考えている。自然に親しむ場所になれば良いと思っており、今後東京都に対し都知事との意見交換の場などを通して働きかけていく。

新庁舎建設、多文化共生 清新町地域の学校適正配置



公明党
伊藤 てる子



問 新庁舎の建設と船堀四丁目及び船堀駅周辺地区のまちづくりについて。

答 最大の区民施設であり防災拠点。賑わいのあるまちづくりの創出を目指す。

問 多文化共生の推進について。

①全庁的な議論を進めるうえで中心となる担当部署を明確にする必要があるのでは。

②全庁的な議論の進捗状況と外国人との共生社会構築の取り組みは。

答 ①区民サービスは各部署で対応している。②各課で検討し経営企画部が調整している。

問 (仮称)角野栄子児童文学館の基本構想が発表され、補正予算が計上された。

①施設の目的やコンセプトは

②施設の機能は

③角野栄子さんが一番想いを込めていることと、それをどう具現化していくのか。

答 ①角野さんの功績や世界観を継承し、児童文学の素晴らしさを発信していく。

②児童文学に親しみ、想像力を育む体験機能。隣接のなぎさ公園との調和を考えている。

③子どもたちが自発的に想像力をつかみ取ってほしい、ということだと思う。

問 夫婦で同じ氏を名乗るか、別の氏を名乗るかを選べる選択的夫婦別姓制度について。

答 区民からの視点で、今の制度の中で出来ることをしっかり対応していきたい。

問 自転車の安全対策について。

①本区での保険加入推進について。

②安全対策及び安全運転の意識啓発について。

答 ①区民交通傷害保険制度の加入促進に努める。

②警察署と連携し、各世代に啓発していく。

問 食材が高騰するなかでの公立小中学校の今後の給食費及び保護者負担軽減について。

答 将来を含めた区の経済状況と区民の生活実情を見極め丁寧に判断していきたい。

問 幼児教育・保育の無償化について。

①混乱なく実施するための課題と対応は。

②私学助成の幼稚園での負担増の対応は。

③多子減免の拡充の考えは。

④給食費の保護者負担について。

答 ①広報等を通じて制度を周知していく。

②今の負担で済むような軽減策を考えていく。

③拡充していく。

④保育園保護者には新たな負担を生じさせず、また幼稚園については必要な補助を行っていく。

問 清新町地区の公立小中学校の適正配置について。

①清新第一小学校の児童数増加に伴う課題は。

②今後の適正配置の考え方は。

答 ①早急に通学区域の見直しなどの対応が必要である。

②児童・生徒の推計と地域バランスを踏まえ、適切に進めていきたい。



幼児教育・保育の無償化について

子どもの権利条例制定・軽度介護者保険外しストップ



日本共産党
小俣 のり子



問 子どもの明るい未来と児童相談所開設について。

①「子どもの権利条例」の制定を提案する。

②虐待を未然に防ぐための具体的な取り組みと親子関係改善再生プログラムの導入を。

③東京都との財政負担の協議の進捗状況は。

④児童相談所における人材確保を含めた継続的な職員育成について、区長の考えは。

答 ①共通の理念やよりどころになる部分を検討していきたい。条例制定も手法の一つではあるが、それ以外も含め研究させてもらう。

②体罰禁止を周知し、リスクのある家庭への支援を図りたい。また、産前からのサポート、地域力を活かした育児支援などにも一層努めていきたい。親子関係改善・再生プログラムについても今準備を進めている。

③都区財政調整制度の配分見直しが23区の要望であるが議論が必要。当面は特別交付金だが、全額負担を都に対し主張している。

④人材確保は目途がたっている。育成に関しては平成24年からの近隣自治体への研修派遣、特別区研修所での法定研修などの充実を図っている。今後は東京都や区市町村と人事交流を見据えた合同研修を行うなど、力を合わせていきたい。

問 介護保険制度の見直しについて。

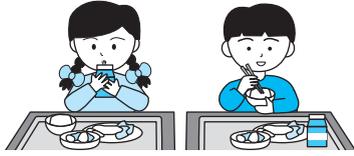
①2015年度から行っている区独自の総合事業についてどのように評価しているのか。

②要介護1・2の介護保険外しをやめるように国に求めていただきたいと考えるが。

- ☑ ①順調に推移していると評価している。
- ②全国市長会を通じ給付と負担のバランス、国と地方の負担のあり方、持続可能な介護保険制度の確立と、要介護1・2の地域支援移行の拙速な検討を避け慎重にと要望している。

☑ 学校給食費の軽減措置を行うべきと考えるが、教育長の意見は。

- ☑ 今後の状況と将来を含めた本区の財政状況、区民の生活実態を見極めながら判断する。



学校給食費の軽減措置について

性犯罪・性暴力の被害相談への包括的な対応を!



江戸川クラブ
岩田 まさかず



☑ 学校教育における神話教育の更なる拡充について。

- ①神話教育の必要性について、区長の考えは。
- ②神話教育の今後のあり方についての考えは。
- ☑ ①日本の歴史や伝統文化を理解することは大切。神話を通じて国を愛する心を自覚する、育てることは大変重要だと思っている。
- ②神話・伝承を含めた我が国の先人の業績について学習する子どもが育ってほしい。

☑ 性犯罪・性暴力の被害相談に包括的に対応するためには、今ある各種支援を一元化する必要があると考えるが、区長の考えは。

- ☑ 区の窓口の一元化は難しいが、専門性を持った相談機関として、東京都が委託している性暴力救済センターがある。江戸川区では一元的な対応として、ここに繋ぐような体制をとっている。ただ、そのような窓口を知らない方も多と思うので、周知・啓発については区としてしっかり行っていきたい。

☑ 妊娠・出産を希望するカップルに寄り添った本区独自の助成制度の創設を検討すべきと考える。不妊治療を少子化対策の重要施策として位置づけ、助成制度の早期実現を改めて訴えるが、区長の考えは。

- ☑ 助成については、必要性をよく検討し、早く実現できるよう努力していきたい。



妊娠・出産に関する助成について

☑ 骨髄移植ドナーを取り巻く課題について。

- ①江戸川区役所における理解醸成と意識改革について、現状認識と本区の目指す姿は。
- ②江戸川区出身の池江璃花子さんへの励みやエールがあれば。
- ☑ ①まだまだドナー登録を増やす必要があり、引き続き周知・啓発に努めていきたい。本区では職員の職免制度を導入しており、職場意識も醸成されていると思っている。

②今までは池江さんが私たちに夢や希望、元気を与えてくれた。今度は私たちがお返しをする番であり、皆さんと一緒に応援をしていきたいと思っている。

一般質問

区民の幸せのため、諸課題に早急の対応を!



自由民主党
白井 正三郎



- ☑ 子どもの成長支援について。
- ①現在の区立小中学校の児童・生徒の「SNS東京ルール」の作成率と定着させる方法は。また、子どもたちの適切な利用を図るためにどのような施策展開を考えているのか。
- ②不登校に特化した新たなボランティアを募集し、児童・生徒とその家族に対して継続的に支援に入れるように派遣するのはどうか。
- ③子ども食堂を更に広げるために新たな助成制度の設置と区民の皆さんから寄付を募る食支援基金の創設を提案する。

- ☑ ①今現在、6割の学校で作成が終わっている。子どもたちと確認するだけでなく、地域・家庭に周知共有しながら定着させていきたい。また、適切な利用に向け、教員を対象とした専門家による校内研修や児童・生徒、保護者に対する指導を行っている。
- ②様々な人との関わりは子どもたちの成長にとって必要なことである。今後も継続的な支援が行えるよう様々な方策を検討していく。
- ③子ども食堂に取り組んでいる団体の自主性を尊重しつつ、いろいろなお話を伺いながら今後も適切な支援について考えていく。

☑ 江戸川区は引きこもりという大きな課題に対応する面が弱く、担当所管の連携が弱いという印象が強くある。そこで、引きこもりに特化した総合相談組織の新設を提案する。

- ☑ 現在、実態調査を行っている。その結果を踏まえ相談窓口の設置等を検討していく。

☑ 新庁舎建設に伴う跡地利用について、一刻も早く専担組織を作り、新庁舎の検討と同様な動きが必要と考えるが。

- ☑ 跡地利用を含めこれからの公共の役割を踏まえた公共施設全般のあり方について庁内でも根本的な議論をし、検討を進めている。

☑ 産業振興について。

- ①建設業や運送業などに特化したマッチングの場を持つことを提案する。加えて、その他の人材不足対策についての具体的な考えは。
- ②今農家はセミプロ的な人材を必要としているため、そのような人材を養成するプロジェクトの創設を提案する。

- ☑ ①特化したマッチングの場が必要であれば考えていく。人材不足に対しては、業界の方から意見を伺いながら対策を講じていく。
- ②一歩踏み込んだ形で意見を聞きながら提案も含め検討したい。

☑ 江戸川区の魅力を再発見し、区内外に情報発信するためのシティプロモーション構想、計画の策定とその方法及び今後の観光に関する考え方について区長の意見は。

- ☑ 街のグレードアップと情報発信の両方に取り組み、区外の方が訪れてみたいと思える

まちづくりをしていきたい。
☑ 世界の人々との共生社会づくりに必要な多文化共生社会推進指針及び推進プランの早期策定を提案する。加えて、策定後、専担組織を設置すべきだと考えるが。

- ☑ 多文化共生の考え方についてはまとめていきたいが、現場が責任を持ってやるという考え方である。

☑ 江戸川区役所の職場環境について。
①近年、江戸川区役所においてパワハラ被害の相談や報告はあったか。もしあったとすれば、増加傾向か減少傾向か。今後相談があった場合、どのように指導改善していくのか。

- ②パワハラと指導の1番の違いは何か。
- ☑ ①相談件数は年2、3件で推移している。相談を受けた際には指導・助言を行い、未然防止策としては研修などを行っている。
- ②育成する気持ちと愛情をもって接しているかどうかの違いだと思っている。

認知症施策の推進で生き心地の良い社会を!



公明党
中道 たかし



☑ 世界に類を見ないスピードで高齢化が進む我が国の認知症施策の推進について。

- ①民間団体の運動の支援について。
- ②国の基本法案を踏まえた取り組みについて。
- ☑ ①認知症の方が安心して住める活動をされている団体を支援するとともに、区としても認知症対策に積極的に関わっていきたい。
- ②本区においては、法案の項目は既に取り組んでいるが、更に深め充実させていく。

☑ 全国初の人工カヌー・スラローム競技場がパドルスポーツのメッカとなるような、東京2020大会のレガシーについて。

- ☑ カヌー・スラローム競技場、新左近川カヌー場、旧中川などの他にない利点を活かし、小学生全員のカヌー体験など、裾野を広げ盛り上げたい。

☑ 今後の災害対策について。
①長期の停電被害対策について。
②水害ハザードマップの理解促進について。
③地域防災力の向上に寄与する防災士の活用について。

- ☑ ①避難所となる学校にはガスボンベ式とガソリン式の発電機がある。また、改築校の太陽光給電整備など電源多重化に取り組んでいく。
- ②子どもたちへの防災学習や町会・自治会等への説明も積極的に行っていきたい。
- ③活躍の場を広げていきたい。

☑ 国内の空き家の割合が過去最高となったが、本区の空き家活用の促進について。
①公的活用バンクについて。
②空き家の貸主と借主の公的マッチングについて。

- ☑ ①②モデル地区を指定して全戸調査等、空き家活用の促進に動いていきたい。



防災無線の戸別受信機を！ LGBT 施策さらに前進を



日本共産党
牧野 けんじ



問 性的マイノリティ、LGBTと人権について。

①性的マイノリティに関わる基本計画を。

②「同性パートナー関係に係る申出書等の取扱い」の活用範囲の拡大と積極的な周知を。

③専門の相談先のわかりやすい周知を。

答 ①東京都が素案でパブリックコメントを実施しているため、これを見極めてから研究をしていきたい。

②③引き続き周知を図っていきたい。

問 生活保護について。

①本区におけるケースワーカー等の資格保有者の割合は。また、資格取得にかかる費用の助成などの支援をすべきでは。

②入浴券や私立高校の入学金補助など、法外援護を実施すべき。

答 ①資格保有者の割合は39.2%である。既に2万円を助成している。

②今は法外援護の復活は考えていない。

問 スーパー堤防と防災・まちづくり事業について。

①上篠崎地区の地盤対策について、安全性の具体的な裏付けを示してほしい。また、住民の求める対策に対する区の考えは。

②「ここにはダメです」のハザードマップと「避難場所」のスーパー堤防の矛盾について整合性のある説明を。また、スーパー堤防整備方針の抜本的な見直しを。

③防災行政無線の戸別受信機の普及を。

答 ①宅地利用に供する地盤対策基準などが国の有識者検討会で示された。その内容を受け、上篠崎地区の宅地の引き渡し基準について国とともに権利者への説明を行った。引き続き安全なまちづくりを着実に進めていく。

②広域避難は呼びかけているが、できない場合はスーパー堤防が水害時の緊急的な避難場所として機能するということであり、矛盾はないと考える。また、見直しは考えていない。

③戸別受信機の配備については考えていない。

斉藤区長のいう「継承と変革」とは？



江戸川クラブ
ます 秀行



問 前回の定例会の招集挨拶の中で「継承と変革」について述べていたが、区政変革に向け秘めた思いがあれば具体的な形で。

答 今まで築き上げてきた信頼を継承しつつ、時代に合わせて変えていかなければいけない部分もある。地域力や人情、健全財政など江戸川区のDNAのような部分はしっかりと受け継ぎ、次の世代にも繋いでいきたい。

問 江戸川区の住宅整備条例について、各規定の定期的な検証を行うべきであると考えますが、区長の考えは。

答 定期的な見直しや検証を行っているが、社会情勢に合わせて変えていかなければいけない部分もたくさんあるので、これからは必要に応じて取り組んでいく。

問 本区の河川に囲まれたこの環境を有効な

商業資源と捉え、河川空間のより一層の活用に期待するが、区長の考えは。

答 キッチンカーの導入などを試験的にやっている。治水に配慮しつつ、河川空間の更なる活用・賑わいづくりを推進していきたい。

問 新しい産業への進出や既存企業へのピントの合った支援など、今よりも一層の取り組みを求めるが、区長の考えは。

答 職住近接の本区にとって、地元の産業の活力は区民の元気に繋がるものであり、産業振興は重要な柱である。タイムリーな支援を行うことができるような体制をしっかりと組んでいきたい。

問 遅れていた学校改築事業を令和2年度以降、当初の計画通り年間3校のペースに戻そうと取り組んでいる。当面は新たな取り組みの成果に期待し、今後の展開を見守っていきたく思っているが、今後の学校改築事業に対する区長の考えは。

答 3校同時に改築事業を進めるにあたり、入札の参加資格、落札者の決定基準の見直しを検討している。計画にのっとった円滑な学校改築を行っていきたい。

子どもの権利条約を知ろう学ぼう活かそう



立憲民主党
滝沢 やすこ



問 生物多様性地域戦略の策定を。

答 検討していく。

問 小松川原っぱへの認識について。

答 都条例の自然地にあたる可能性があり、都の調査結果により必要な処置を講じる。

問 江戸川区の全区をあげて子どもの権利条約への理解と理念体得の促進を。

答 あらゆる手段を講じて理解促進に努める。

問 親から子どもへの体罰を禁止する法律の施行に向けての江戸川区の取り組みについて。

答 取り組みを一層強めていく。

問 定例の区長記者会見の実施を。

答 検討していく。

問 政策決定にかかわる会議の公開の徹底を。

答 基準策定を含め、検討していく。

問 スクールセクハラ対策について。

答 児童・生徒へのアンケート及び事例への指導、教員への研修及び指導を行っている。

みんなで見守る！ みんなが繋がる！



えどがわ区民の会
金井 しげる



問 共通の目印となるアイテムを身につけての見守り活動に対する区長の意見は。

答 反射アームバンドを配っており、それが防犯対策の一助になればと思っている。

問 区の施設や区内主要各駅などに図書返却ボックスの設置を考えるべきでは。

答 今庁内で様々な角度から検討している。

問 受動喫煙防止対策の新たなルールをどのように理解してもらい、推進していくのか。また、屋外喫煙所の設置やポイ捨てに過料を科す考えも含めどのように対応していくのか。

答 普及啓発を行っている。屋外の喫煙所に

ついては設置方法、場所等について検討している。過料については今は考えていない。

プラスチック削減、森林環境譲与税とひきこもり対策



生活者ネットワーク
伊藤 ひとみ



問 プラスチック製品の使用削減について。

①グリーン購入指針に基づいたプラスチック不使用についてどう考えるか。

②ペットボトル削減に向けて給水器の設置を。

答 ①使い捨てプラは廃止しないといけない。

②区施設などへの配置については、必要性を見極めながら研究していく。

問 森林環境保全のための普及啓発を。

答 小学校高学年に対し実施している。

問 若者と大人のひきこもりについて。

①本区の現在の実態と支援方法は。

②改めて実態調査を行い、該当者に寄り添った支援を行うことが重要と考えるか。

答 ①②約1万人と推計している。今後も個々の状況に応じた支援を行っていく。

ひきこもり・不登校対策を大人のオムツ替え可能なトイレを



公明党
佐々木 ゆういち



問 ひきこもり対策について。

①実態調査について。

②支援体制について。

③教育委員会との連携した取り組みについて。

答 ①実態に則した施策とするため、福祉関係者へのアンケート等を考えている。

②実態を把握して支援策に結び付けたい。

③幼少時から学校、義務教育終了後から熟年者まで一貫した支援を行っていく。

問 不登校対策について。

①ソーシャルワーカーの配置の充実について。

②不登校特例校の整備について。

答 ①昨年6名に増員したが、今後質的・量的な充実を含め、より良い支援を検討する。

②小学生を対象とした不登校特例校の開校に向けて整備を進めている。

問 給食費等の公会計化に向けた取り組みについて。

答 教員の働き方改革の一環として検討している。他自治体の動向を踏まえ検討していく。

問 公共トイレへの折りたたみ式大型ベッドの設置推進について。

①区有施設への設置について。

②公式ホームページやバリアフリーマップ等への設置場所の周知について。

答 ①条件の合う施設から設置していきたい。

②公式ホームページやバリアフリーマップ等で周知していきたい。

問 河川敷の移動手洗所の今後について。

答 効果的な配置を考えている。

問 江戸川区自然動物園を有する行船公園の今後について。

答 3つのゾーンになっており、世代によって利用用途がわかれているため、総合的に考えていきたい。

決算特別委員会

決算特別委員会は、9月27日から10月10日までの間の8日間にわたって、一般会計と3特別会計の各決算について、予算が計画的かつ効果的に執行されたか、慎重に審査を行いました。

委員会での審査を踏まえ、10月24日の本会議で採決の結果、平成30年度各会計歳入歳出決算は、賛成38・反対4で認定されました。

決算特別委員会委員 (◎委員長○副委員長)

- | | | | |
|---------|--------|---------|--------|
| ◎ 須賀 精二 | 白井正三郎 | 太田きみひろ | ます 秀行 |
| ○ 伊藤てる子 | 牧野けんじ | 野崎まこと | 福本みつひろ |
| よ ぎ | 神尾てるあき | 中山たかひと | 小俣のり子 |
| 小林あすか | 滝沢やすこ | 大橋みえ子 | セバタ 勇 |
| 本西みつえ | 岩田まさかず | 金井しげる | 川瀬やすのり |
| 伊藤ひとみ | 竹平ちはる | 笹本ひさし | 早川 和江 |
| 田島 寛之 | 所たかひろ | 中津川まさあき | |

委員定数 20人 (委員の途中交代あり)



決算特別委員会の様子

平成30年度決算に対する各会派の意見

自由民主党 (賛成)

- 江戸川区の財政を取り巻く状況は厳しい。そのような中で、直面している課題への対策を力強く進め、財源の効果的活用と経常的経費の見直しを図り、健全財政を堅持し、持続可能な行財政運営をしてきたことを評価し、平成30年度歳入歳出決算に対し賛意を表明する。
- [主な要望]
- 区民税の収入未済と不納欠損の減少に向けて、滞納対策強化の更なる推進を。
- 2.2%に上がった地方消費税率による増加部分を社会保障費に有効活用すること。
- 財政調整交付金の垂直調整や児童相談所も含めた権限と財政課題について、都に対し粘り強い主張を。
- 新庁舎の建設について幅広く意見を聞き、建設検討と跡地利用を同時に進めること。
- 児童文学館・専門職大学について、緻密な計画案を策定し、国内外に本区の魅力発信を。
- 西小松川高架下に多文化共生交流施設を。
- カヌー・スラロームセンターは準備体制を整え、オリパラ終了後も更なる推進を。



カヌー・スラロームセンターについて

- 江戸川の魅力を掘り下げる戦略を。
- ハワイ州ホノルル市との友好関係構築を。
- 避難所に液体ミルクの備蓄を。
- 災害廃棄物の仮置場や処理施設の確保を。
- 水害ハザードマップを正しく理解し、実行できるよう説明会等の実施を。
- 公園や学校に地域防災倉庫の設置を。
- 不調対策として入札制度の規制緩和を求めるとともに、適正な積算価格の算出を。

- 篠崎文化プラザ活動室の活動に対する支援を。
- 温水プールなどの大型公共施設の新たな建設について、幅広く区民の意見を聞き、区議会との議論・相談を。
- 小岩小学校の土俵において、田子の浦部屋と協力し、地域イベントなどの開催・定着を。
- 町会会館の建て替えの助成は、町会・自治会の法人化を条件として金融機関と話を詰め、早めの建て替え及びリフォーム支援を。
- 建築業や運輸業、工業などに特化したマッチングの場を持つとともに、セミプロ的な農業人材の養成のためのソフトの仕組みづくり、ものづくり産業の創業支援施設の開設を。
- 使用済注射針と専用回収容器への助成を。
- 清掃事業者への人件費などの更なる支援を。
- フレイル予防の推進について、健康長寿をまっとうするため区をあげて取り組むこと。
- 風疹予防接種の周知と実施の継続を。
- 自殺対策について、地域力を活かした相談の機会と寄り添った場の拡充を。
- 障害者支援ハウスでの死亡事故について、スピーディーな再発防止策・報告説明を。
- 生活保護費の返還金について、各部で連携して回収すること。
- 幼児教育無償化の給食などについて、幼稚園と保育園での格差是正を。
- ひとり親家庭への学習支援事業は、区民ボランティア等への助成を検討すること。
- 児童相談所開設に向けて、各関連機関が一丸となって取り組むこと。
- メトロセブンに関して、LRTやBRTの検討や葛西臨海公園までの優先整備など、新しい発想でより一層の努力を。
- バス不便地域の解消等に加え、庁舎跡地の賑わいの維持及び創出などために、コミュニティ交通の検討を。
- 災害危険度の高い西小松川町、東小松川一・二丁目のまちづくりの推進を。
- 自転車事故に対し、ブルーレーンの整備と保険加入の促進を。
- スーパー堤防の整備促進を。
- 教職員のメンタルヘルスと職場環境を把握し、ストレスチェックを活かした対応を。
- 区内小中学校での虫歯罹患率が高いことを踏まえ、歯科医師会と連携し対応を。
- 学校改築に木造建築を採用入れること。

公明党 (賛成)

- 平成30年度決算審査にあたり、江戸川区の経常収支比率が6年連続で適正範囲を維持していること、また、6年ぶりに財政調整基金を取り崩すこととなったが実質単年度収支は黒字を保つなど、健全財政を堅持されたことは高く評価する。区議会公明党は、多角的な視点と総合的な判断から、妥当なものと判断し平成30年度江戸川区各会計歳入歳出決算を認定する。
- [主な要望]
- 「江戸川区多文化共生指針」の早期策定を。
- ホームページの更なる多言語化及びやさしい日本語による発信を。
- 大規模水害時の広域避難について、防災講演会やハザードマップ説明会の開催とともに、関係機関との連携した取り組みを。
- 災害時の備蓄物資として乳児用液体ミルクを配置するとともに、保護者への周知を。
- JR小岩駅周辺再開発による街の新たな賑わいづくりと魅力あるまちづくりの推進を。
- コミュニティ交通による利便性向上を。
- 特殊詐欺対策について、被害の未然防止を。
- 食品ロス削減の普及啓発と「推進計画」の作成、フードドライブの常設窓口の設置を。
- 図書返却ブックポストの更なる増設を。
- 共有プラザについて、空白地区の解消とともに、民間の活用も視野に入れた取り組みを。
- 新左近川カヌー場について、本区の魅力発信とともに、区民への周知を。
- 来年5月に実施する花火大会の周知徹底を。
- 「なごみの家」の更なる周知と整備促進を。
- 認知症グループホームの着実な整備と入居者への利用料補助の創設を。
- 民間緊急通報システム・マモルくんについて、必要な方への条件緩和を。
- 介護人材確保について、重層的な取り組みを。また、研修による専門的スキルの向上を。
- 重度障害者のグループホームについて、「親なき後」の課題解決に向けた整備を。
- 医療的ケアを必要とする重症心身障害児への支援の充実及び施設整備を。
- ひきこもり対策を担う全庁横断的な組織を。
- 待機児童解消と教育・保育の質の確保を。
- 育成室の定員増や長時間預けられる施設の



ひきこもり対策について

設置を。
 ○児童相談所の運営費について、他の区と一体となり、財政調整交付金算定への推進を。
 ○受動喫煙防止について、区内店舗・事業者へ周知徹底するとともに、万全な取り組みを。
 ○胃がん検診について、内視鏡検査の導入と合わせてピロリ菌検査についても検討を。
 ○妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援の充実と子育て情報アプリ「母子モ」の導入を。
 ○子どもの権利条約について学ぶ機会を。
 ○東京都と連携し、電線地中化の推進を。
 ○自転車の区民交通傷害保険制度の周知を。
 ○すくすくスクールの学童登録について、人材確保に努め、土曜日及び長期休業日は午前8時からの開始を。
 ○準要保護の入学準備金増額と支給前倒しを。
 ○特別支援教室については、巡回指導教員と全教員及び各機関が連携を密にし、1人1人の特性に合わせた指導・支援を。特に新一年生への支援強化を。
 ○給食費について、更なる保護者負担軽減を。
 ○不登校児童・生徒へは早期の支援で多様な学びの機会の確保を。

日本共産党(反対)

審査にあたり「くらしと福祉を守る立場に立っているか」、「区政に民主主義が貫かれているか」、「国や都の政治に対し、区民を守る立場に立っているか」の観点で慎重に審査した結果、基金の活用など注目されるものの平成30年度決算の認定に明確に反対する。
 [主な反対理由]
 ○多くの国民が決して「高福祉」とは言えない苦しみを押し付けられ、「高負担」ばかりがもたらされているにも関わらず、「高福祉、高負担」を理由に消費税増税を肯定していること。区のあらゆる施設使用料などにおいて、消費税増税分の値上げを実施したこと。
 ○スーパー堤防事業において、見通しも住民の理解もなく、防災の名のもとに推進し、現実的な防災対策である防災行政無線の戸別受信機設置を軽視する区の姿勢。
 ○羽田増便新ルートについて、住民の暮らしや環境よりもアメリカを優遇する航空行政に対し、意見を言わないことや経済効率を理由に新ルートを容認していること。政府が打ち出した、世論を全く無視したマイナンバー制度の普及促進策等を容認する区の姿勢。



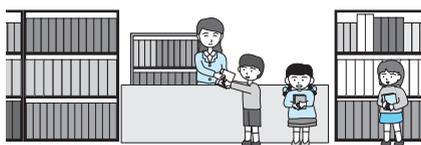
羽田増便新ルートについて

○教員の定数増や35人以下学級について、国や都に要請する姿勢が不十分。給食費の軽減措置を明言せず、学校図書館司書を23区で唯一全校配置しない。すくすくスクール学童の補食提供への冷たい姿勢。正規と同等の仕事

をしている非常勤職員を正規にしない。
 ○23区で一番高い国保料の均等割。介護保険料や後期高齢者医療保険料の負担は重く、高齢者いじめと言わざるを得ない。

江戸川クラブ(賛成)

財政規律を堅持し、現在と将来の区民負担の公平を図りながら、計画的かつ柔軟な発想で区政改革を進めていくことに期待し、平成30年度決算に対して賛意を表明する。
 [主な要望]
 ○学校改築事業において、入札制度の改定により、区外業者の参入を更に困難にさせる恐れがあることについて十分な考慮を。
 ○外国人学校の児童・生徒・保護者に対する補助金の支給方法について、今後の見直しを。
 ○大規模災害に備え、万全な災害対策を。
 ○図書館運営について、図書廃棄の明確な基準を。また、行政主導による環境整備を。



図書館運営について

○地域産業の振興に向けた取り組みの拡充を。
 ○区の大型イベントにおけるビッグデータの活用について、柔軟な姿勢での取り組みを。
 ○南葛西の土壌汚染対策について、都への協力要請も視野に入れた対策を。
 ○災害への備えとして、在宅人工呼吸器使用者等への支援計画の推進を。
 ○若い世代に向けても介護虐待防止の啓発を。
 ○保育士や幼稚園教諭等関係者の処遇について、現状に合った対応改善を。
 ○江戸川区の住宅条例が持つ規制内容について、定期的な検証の実施を。
 ○スーパー堤防は、一部の完成部分だけでも「命山」になる。整備事業の一層の推進を。
 ○学校図書館における個人情報の取扱いについて、十分な配慮を。
 ○すくすくスクールの時間延長について、更なる理解を。また、長期休暇中のお弁当を選択制で委託することについて検討を。

立憲民主党(賛成)

平成30年度決算に賛成する。本区の財政力指数0.41、社会構成の変化、既存の課題における対応状況や新たに出て来ている課題を分野横断的に研究し、本区の財政基盤が景気によって左右される可能性も踏まえ、企業の支援・誘致等の工夫により財源を確保する等、生きる喜びを実感できる都市を引き続き構築して頂きたい。
 [主な要望]
 ○スマートシティのような成熟した枠組みを導入し、全事業を多方面から分析すること。
 ○全ての子どものニーズに向き合う児童相談所を。
 ○死亡・暴行・いじめの事件への誠実・迅速な対応。プロセスを検証し、速やかに改善を。
 ○外国人を含め全ての子ども保育・教育を。
 ○英語・日本語での教育で多文化共生を。



多文化共生について

えどがわ区民の会(賛成)

より良い江戸川区の実現に期待し、平成30年度各会計歳入歳出決算に対し賛意を表明する。
 [主な要望]
 ○受動喫煙防止を推進するとともに、喫煙者と非喫煙者の共生を目指した施策を。
 ○本庁舎建設に併せて、障害者就労支援センターの設置を。
 ○生活保護制度において、社会復帰に向けた支援体制の拡充や当事者とその家族に寄り添った対応を。
 ○交通安全のルール・マナーの周知・徹底を。



交通安全のルール・マナーについて

○学校部活動において、顧問の先生による大会参加エントリーのし忘れを確実に無くすシステム作りと指導を。

生活者ネットワーク(賛成)

子どもの育ちを応援する施策に鑑み、平成30年度歳入歳出決算を認定する。
 [主な要望]
 ○子育てひろばをバランスよく設置し、地域の力を活かした一時保育環境の充実を。



子育て支援について

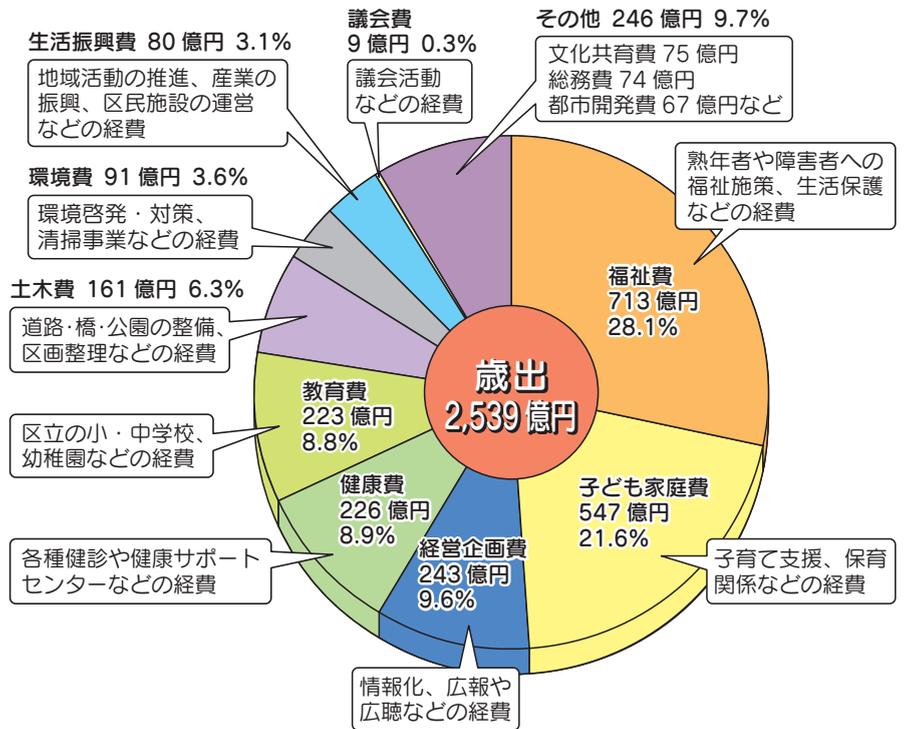
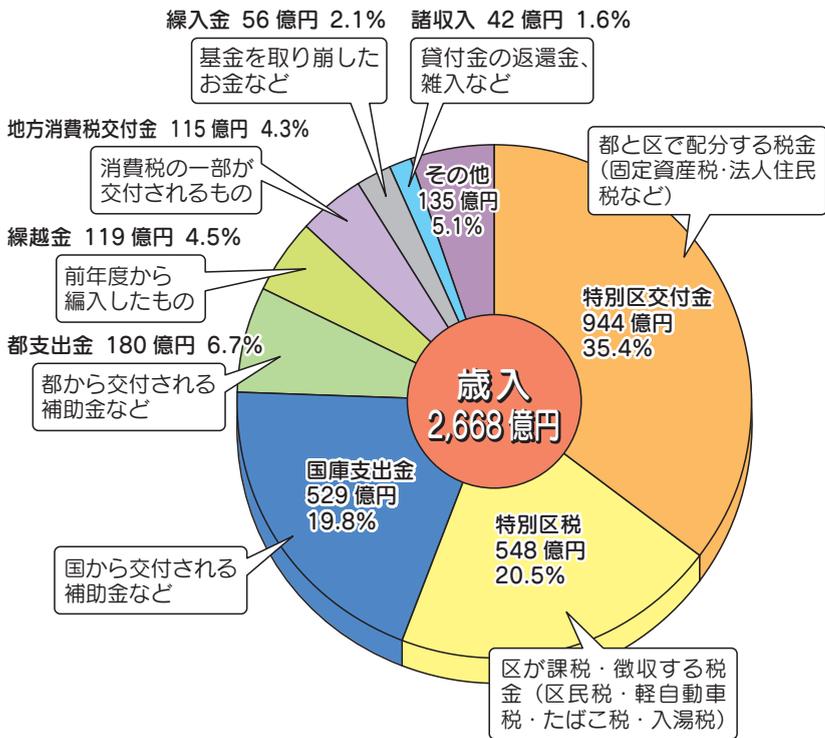
○子どもたちが「情報モラル」をしっかり認識できるよう環境の整備を。
 ○給食の白衣洗濯は着香製品の使用自粛を。
 ○男女混合名簿使用の発信を教育委員会から。
 ○障害者の余暇や介護者支援の実施先の拡大を。
 ○介護予防・日常生活支援総合事業の検証を。
 ○ごみの戸別訪問収集及び災害時のために専門職員補充の検討を。
 ○スーパー堤防整備方針を見直し、現実に即した治水対策を。

無所属(賛成)

平成30年度決算に賛成する。
 [主な要望]
 ○本区における犯罪、特に少年犯罪を減らすため、日頃から積極的な周知活動を。
 ○介護施設の建て替えにおいて、廃校になった校舎や公園等公有地の一部活用を。
 ○学校応援団体等のボランティアの拡充を。
 ○学校の情報化について計画的な環境整備を。

平成30年度各会計歳入歳出決算のあらまし

一般会計



歳出の性質別内訳



金額及び構成比は表示単位未満を四捨五入しているため、合計と一致しないことがあります。

特別会計

国民健康保険事業特別会計		介護保険事業特別会計		後期高齢者医療特別会計	
歳入	680億円	歳入	436億円	歳入	132億円
歳出	673億円	歳出	421億円	歳出	130億円

議場コンサートの開催について

令和元年第3回定例会の初日に区議会議場においてコンサートを開催します。この機会に定例会を傍聴いただき、区議会をより身近に感じてください。

日時 令和元年11月25日(月) 12時10分から12時40分
演奏場所 江戸川区議会議場
演奏曲目(予定)

- クライスラー：愛の喜び
- チャイコフスキー：メロディ
- モンティ：チャルダッシュ
- エンリオ・モリコーネ：ニューシネマパラダイス
- いずみたく：見上げてごらん夜の星を

その他
 議場コンサートはどなたでも鑑賞することができます。当日の11時30分から区議会事務局で受付をいたします。席数に限りがございますので、満席によりご入場いただけない場合はご容赦ください。

令和元年第3回定例会開催予定

11月25日(月)	本会議(議案上程、委員会付託)
27日(水)	本会議(一般質問)
28日(木)	本会議(一般質問)
12月2日(月)	常任委員会(議案審査)
3日(火)	各常任委員会(請願・陳情等の審査)
11日(水)	本会議(委員会報告及び表決)

※ 本会議は午後1時、各委員会は午前10時開会予定です。
 ※ 傍聴は、本会議は開会日当日の正午以降、各委員会は開会日当日の午前8時30分以降に区役所西棟3階の区議会事務局で先着順に受付しています。なお、定員がありますので詳しくは区議会事務局までお問い合わせください。

区議会だより編集委員会 (◎委員長 ○副委員長)

◎ 大西洋平	○ 竹内すすむ
小俣のり子	中津川まさあき